

「岡崎歌舞伎公演」わくわくガイド

いよいよ「岡崎歌舞伎公演」開催まで残り1か月半となりました！

そこで、「歌舞伎って難しそうだな～」「歌舞伎って独特だな～」など思われる皆さまへ「岡崎歌舞伎公演」をより楽しんでいただくために、歌舞伎の豆知識をご案内させていただきます。

簡単な説明でございますが、お付き合いのほどよろしくお願いいたします！

第一回 歌舞伎の演目について

第二回 歌舞伎の文字について

第三回 歌舞伎の大道具について

第四回 歌舞伎の音楽について

第五回 岡崎歌舞伎公演の楽しみかた



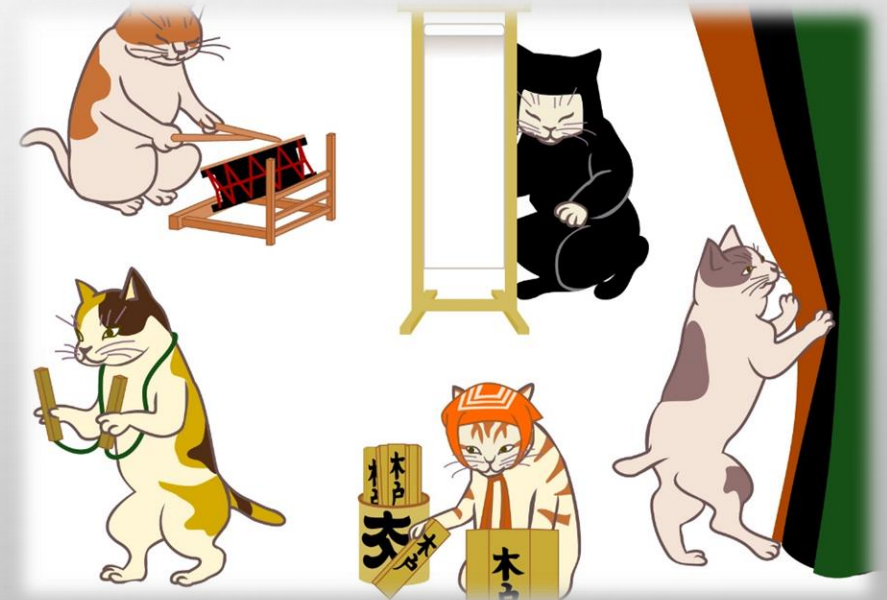
第一回 歌舞伎の演目について

名題と外題（なだいとげだい）

歌舞伎の題名のことを「演目」（えんもく）と言います。今回の岡崎歌舞伎公演の演目は「旅噂岡崎猫」（たびのうわさおかざきのねこ）と新作舞踊劇「紅葉錦絵葵正夢」（はなのにしきえあおいのまさゆめ）ですが、お芝居の内容を想像させる、日本ならではの漢字が並んでいます。

実は演目にも決まりごとがあり、縁起を重んじて奇数で統一し、五文字・七文字で表します。これを名題あるいは外題（芸題）と呼びます。

岡崎歌舞伎公演を機会に、歌舞伎の演目にも興味をもって見ていただくと、歌舞伎の世界がさらに深く広がること間違いなしです！



第二回 歌舞伎の文字について

歌舞伎の文字にはジंकスがある？

歌舞伎の番付の文字は「勘亭流」といって、歌舞伎特有の書体を使用します。この書体は、鎌倉時代に始まり現在まで受け継がれてきたようです。勘亭流の書体は歌舞伎興行が成功することを願い、客席がいっぱい埋まるよう隙間を作らない書き方をするほか、興行が円満に終わるように文字に丸みを持たせたり、お客を劇場にハネ入れるよう漢字のハネル箇所は内側にハネる、などの約束事があるようです。

チラシを見て、姓名の書き方と均等割り付けを不思議に思われた方も多と思います。同じく興行の成功への願いが込められております。均等割り付けの方が、名前の下に余分な空間が生まれず美しいように思います。そして、名前の下に空間を作らないことに、何かしらジंकスが隠されているのかもしれませんが。

勘亭流

かんでいりゅう

